

就学支援シートの書き方について

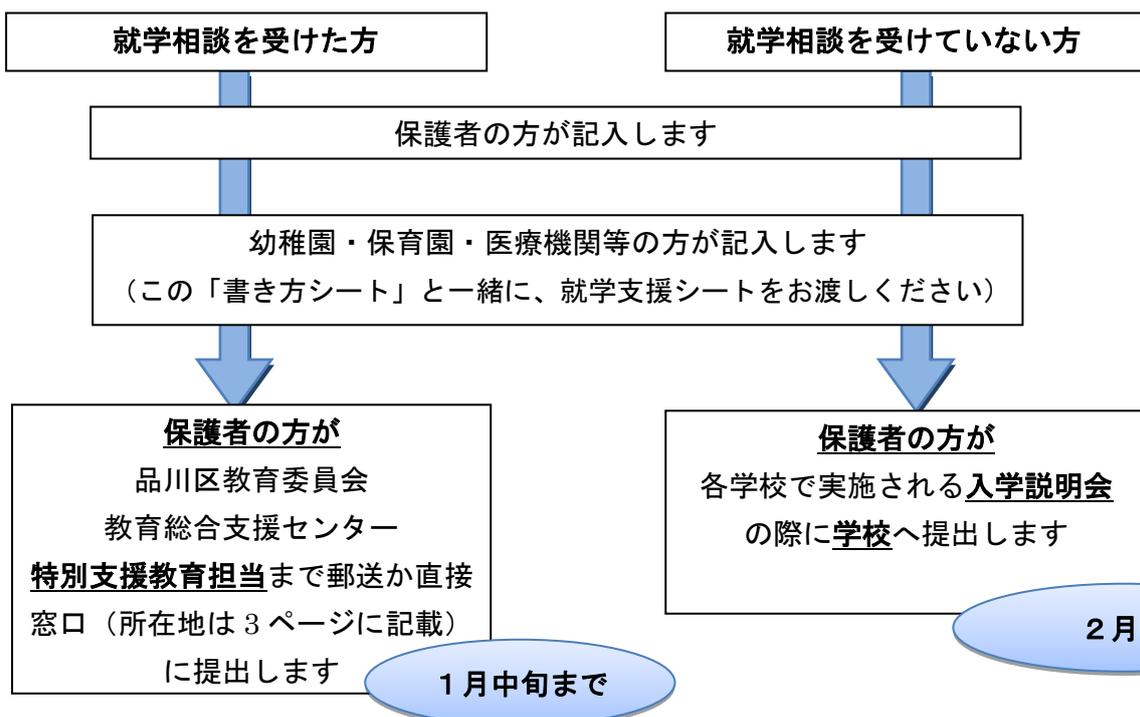
「就学支援シート」は、お子さんのよさを伸ばし、楽しい学校生活を送れるようにすることを目的に、小学校・義務教育学校等への入学時期に保護者と幼稚園・保育園・療育機関等の皆様のご協力を得て作成します。入学する学校では、「就学支援シート」をもとに、これまでの成長・発達の歩みを大切に、指導の充実を図ります。

記入していただきたいこと



- ☆ 入学する学校に伝えたいことをご記入ください。
 - ☆ 大切なポイントだけで結構です。すべての欄に記入する必要はありません。
 - ☆ この用紙の他に伝えたいことがあれば、必要に応じて関係書類なども添えてください。
- ・ お子さんに合わせて工夫した指導内容や教材・教具、言葉かけや支援の仕方
 - ・ どうしても苦手なこと、環境、および情緒が不安定になったときの対応の仕方など、学校生活において配慮が必要なこと
 - ・ よりよい成長・発達のために、学校に入学してからも引き継いでほしいと思うことなど

提出の仕方



各項目 <記入の観点>

■ 以下の観点から、成長・発達の様子や指導・支援の手だて、配慮事項等をお伝えください。

I. 成長・発達の様子



身体・健康

- 健康上の必要な配慮点（健康状態、服薬の有無、アレルギーの有無等）
- 身体上の必要な配慮点（身体・運動機能の障害の有無、視覚・聴覚等の状況等）
- 手・指の動き、握り方、使い方
- 基本的生活習慣の自立（食事、排泄、衣服の着脱等）

★ 学校生活を送る上で、身体・健康面で配慮すること

人とのかかわり



- 一対一（先生と、友だちと等）のかかわり、集団への参加（集団の大きさ等）
- かかわりの相手（誰とでも、特定の相手等）
- 人とのかかわりの場面・場所（どのような場面、特定の場面等）
- どのようなかかわり方（自分から、相手から等）
- 言語・指示理解の程度・状況（個別に必要、全体への指示を理解等）
- 意思疎通の方法（言葉、身振り等）
- 時、場に応じたコミュニケーションの成立

★ コミュニケーションを図る上での配慮事項や支援の方法など

学 習



- 文字や数字に関すること
- 絵を描くことや物を作ったりすることへの関心
- 苦手な課題や重視して取り組んだ課題

★ 活動に取り組んでいるようすや配慮事項、支援の工夫等

行動特徴



- 性格の特徴
- 行動の特徴（配慮等が必要なこと）
例：多動性、衝動性、自傷・他害行為、パニック、爪かみ、指しゃぶり、チック、吃音、場面緘黙等
- 興味や関心のある事柄や範囲とその程度等

★ 学校生活において配慮が必要なこと、支援の方法、興味関心等

Ⅱ. 指導内容・方法の工夫や配慮等

- 幼稚園・保育園・療育機関等において、成長・発達を支援し見守る上で大切にしてきたことおよび指導内容や指導方法の工夫など（支援の手だて）
- 就学後も引き続き教育的支援が必要と思われる内容
- 学校生活以外で支援が必要と思われる内容
例：登下校、下校後の過ごし方、関係機関等との連携など

Ⅲ. 就学後も引き続き教育的支援が必要と思われる内容や配慮事項

- 幼稚園・保育園・療育機関等において、これまでの指導で伸びたこと、これからも伸ばしてほしいこと

● 就学後の生活に関する家庭の意向・要望・期待

- 保護者の方がご記入ください。
- 就学後の生活に関する家庭の意向、要望や期待等があればお書きください。

お問合せ先

ご不明なことなどがございましたら、下記までご連絡ください。

品川区教育委員会 教育総合支援センター 特別支援教育担当

（電話：5740-8202）

〒141-0031 品川区西五反田6-5-1 教育文化会館4階